

小平市用水路活用計画の基本的考え方

- 歴史的文化遺産としての用水路の役割を見直し、環境資源として整備活用するため、基本的考え方を定めました。
1. 地域住民と用水路の関わりを豊かにし、公共の財産として次の世代に継承する
 2. 水と緑のネットワークを形成する
 3. 用水路の本来の姿を保全・再生する
 4. 地域の特性を生かす

「春の小川の創生」

春の小川の創生とは、用水路整備をイメージした言葉で、草木が芽吹き自然を形成していく春の用水路の情景が、水生生物にやさしく、人に「余裕」「やすらぎ」「うるおい」「ふれあい」を与えてくれる用水路整備のイメージと重なっているところから表現したものです。

かつて、子どもたちがタンポポなどの花の咲いた用水路の土手で、よもぎ摘みをしたり、はだしになってザリガニやメダカを捕まえたりして遊んだ、「水が見えて」「水に近づき」「水で楽しむ」ことができる景観を整備していきます。

水と緑のやすらぎ景観

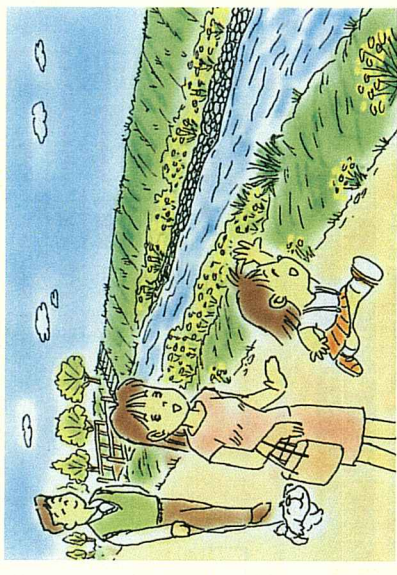
①水が見える空間

水のせせらぎに耳を傾けると昔ながらの景観を残している用水路を見つたりします。歴史ある用水路は、心に「余裕」を与えてくれます。



②水に近づける空間

水は緑をはぐくみ、四季折々の風景を映します。用水路に沿って設けられた自然散策路では、水生生物、草花や鳥などの豊かな自然が「やすらぎ」と「うるおい」を与えてくれます。



③水で楽しめる空間

四季で変化する水流や水温の感触を身近に感じ、水生生物を観察することができる豊かな自然は、憩いの時間を提供するとともに「ふれあい」を与えてくれます。



小平市用水路の親水および緑道利用敷地の愛称

テラスの小庭



つたかべの径



やぐも八雲せせらぎ水辺



あかしあの水路



やすらぎの小径



花の小径



さるすべり百目紅の小径



せいふうしんすい清風親水エリア



あじさいの小径



だいまんぼしりくどう大門橋緑道



めぐりすいもんりくどう回田水門緑道



いけハッピーとんぼ池



かまくらばし鎌倉橋エリア



あなつづかりくどう二ツ塚緑道



かみすずきりくどう上鈴木緑道



なび木もれ日の径



なご魁の流れ



ちよこく彫刻の谷緑道

